

最近の雇用情勢について

(平成31年2月)

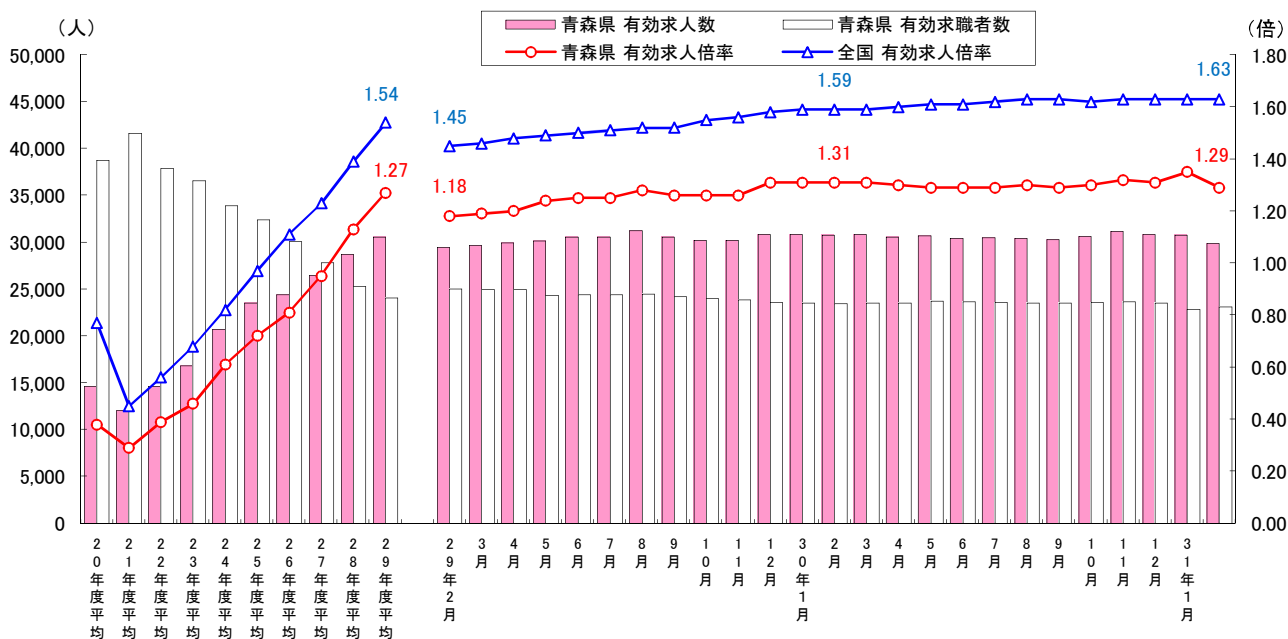
青森労働局

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

2月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ2.9%減少し29,886人、有効求職者数（同）は1.3%増加の23,110人で、有効求人倍率（同）は1.29倍となり、前月を0.06ポイント下回った。

就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は1.40倍と前月より0.07ポイント下回り、受理地別の倍率を0.11ポイント上回った。

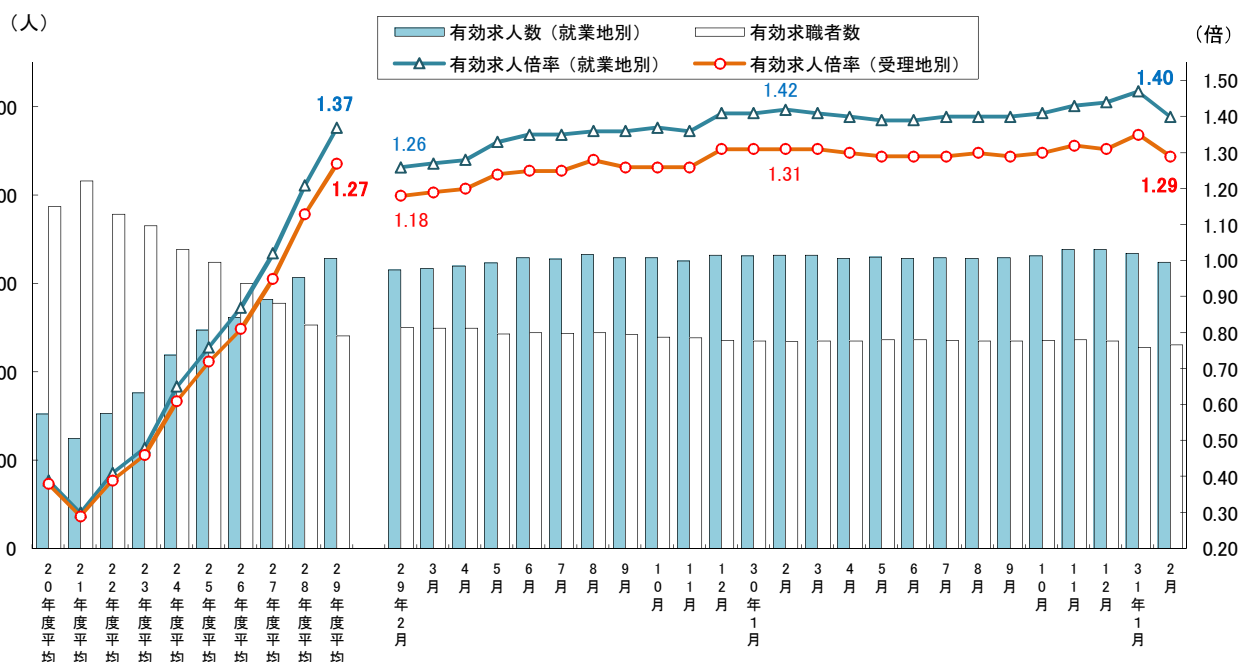
受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



全国のハローワークで受理した求人、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。

季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。

就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

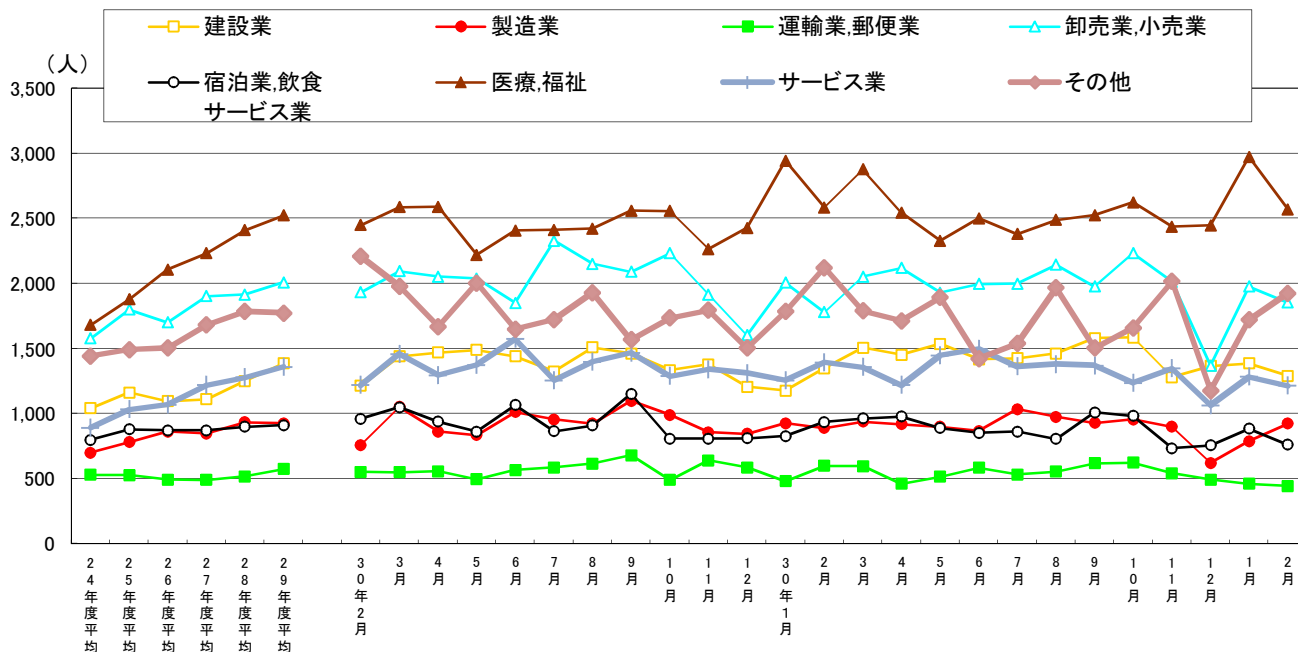
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

2月の新規求人数(原数値)は前年同月比5.8%(671人)減少の10,982人。

主な産業別で前年同月と比較すると、製造業、卸売業、小売業等で増加し、建設業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で減少した。

製造業では、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、はん用・生産用機械器具製造業、情報通信機械器具製造業で増加し、木材・木製品製造業(家具を除く)、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で減少した。



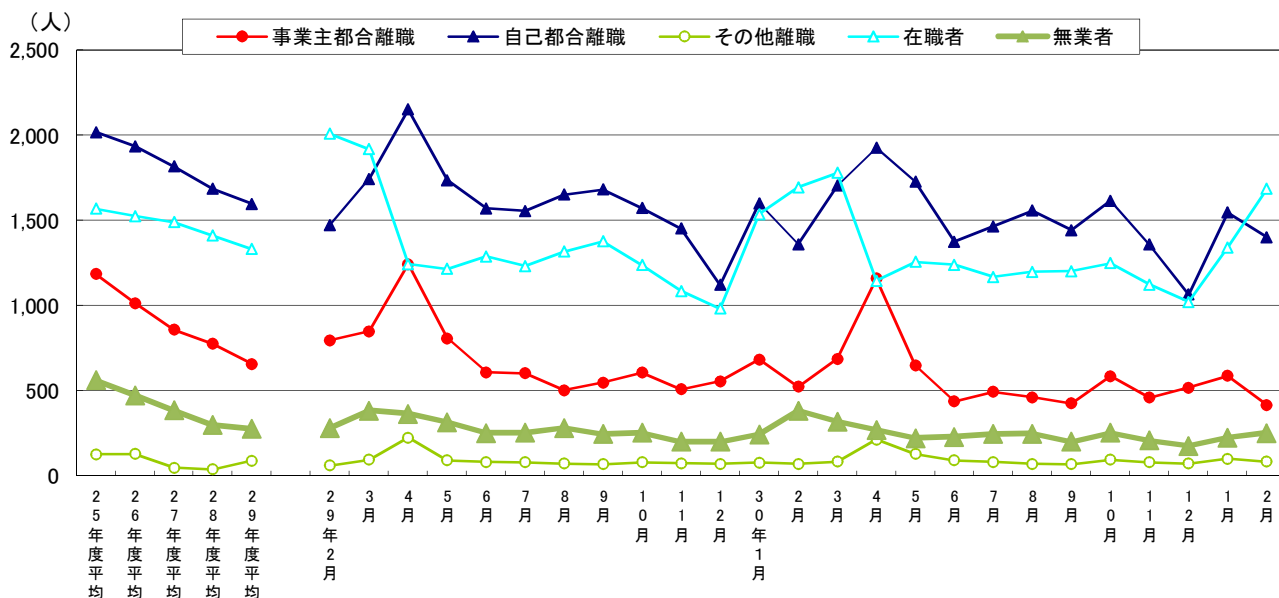
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農林漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業,保険業」「不動産,物品賃貸業」「学術研究,専門・技術サービス業」「生活関連サービス業,娯楽業」「教育,学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

III 新規求職の状況(パートを除く常用)

2月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比4.9%(196人)減少の3,838人。

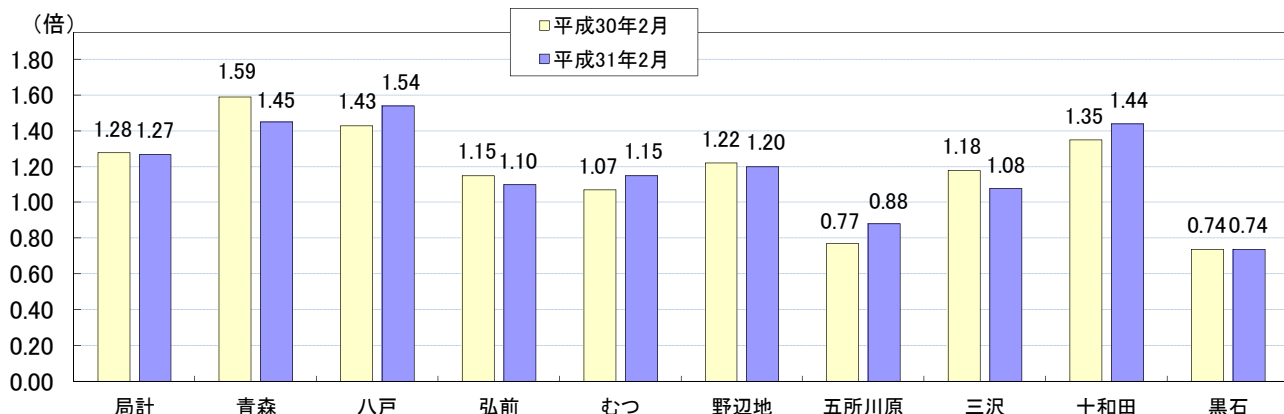
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は0.6%(10人)減少、無業者は34.6%(132人)減少、離職者は2.8%(54人)減少し1,902人となった。

離職理由でみると、事業主都合は20.4%(107人)減少、自己都合は3.0%(41人)の増加となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

2月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.27倍となり、前年同月より0.01ポイント低下した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



H31.2	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	23,332	5,671	5,310	4,270	1,261	934	2,085	1,343	1,152	1,306
有効求人数	29,566	8,230	8,187	4,677	1,449	1,122	1,834	1,446	1,655	966

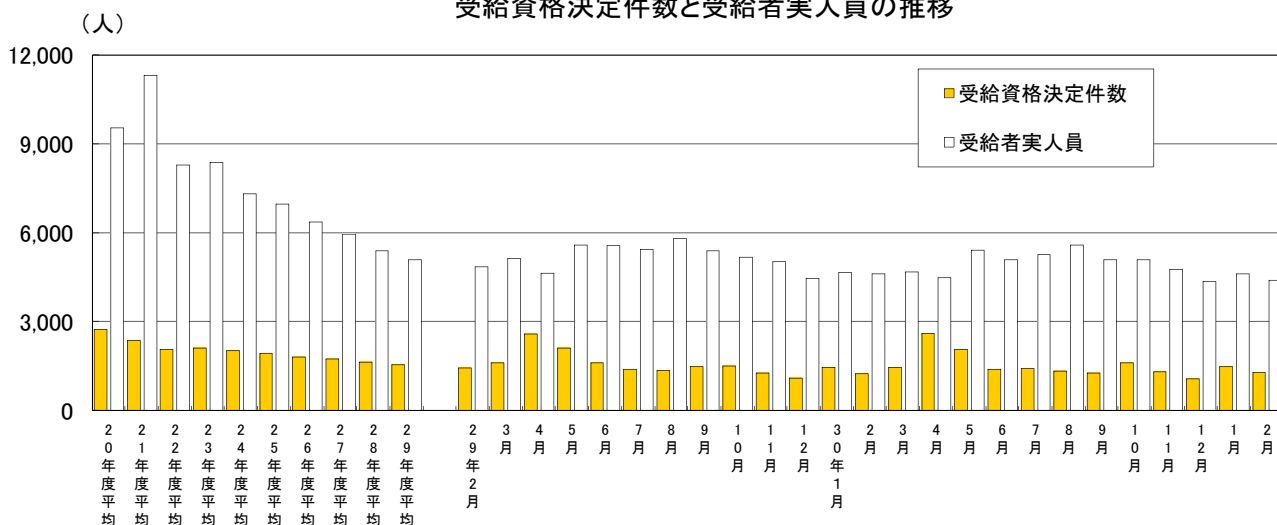
(単位:人)

V 雇用保険の状況

2月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比4.7%(216人)減少、前月比では4.7%(216人)減少の4,406人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比2.8%(35件)増加、前月よりも13.8%(204件)減少し1,278件となった。

資格喪失者(高齢者、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比22.1%(52人)増加、前月比8.7%(23人)増加し287人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

